

平成30年4月6日

保護者の皆様へ

尾道市立瀬戸田学校

校長 住元 康男

## 北朝鮮による弾道ミサイル発射に係る対応について（お知らせ）

日頃より本校教育に対しましてご理解、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。見出しのことについて、Jアラート等を通じて緊急情報が発信された際の安全確保の方策等について尾道市教育委員会を通じて、文部科学省及び広島県教育委員会から連絡がありました。

つきましては、現下の国際情勢に鑑み、北朝鮮による弾道ミサイル等が、万が一、日本の領域内に落下する可能性も考慮し、次の事項についてご確認ください。よろしくお願ひいたします。

- 1 登校前にJアラート等を通じて弾道ミサイル発射に係る緊急情報が発信され、解除されていない場合には「自宅待機」とします。具体的なことについては、学校から速やかにメール配信あるいは電話連絡等でお伝えします。
- 2 「自宅待機」解除の連絡は、メール配信及び電話連絡にてお知らせします。
- 3 平成29年9月8日付け「北朝鮮による弾道ミサイル発射に係る対応について」（文部科学省）に別紙として添付されている「弾道ミサイルが落下する可能性がある場合にとるべき行動例について」を裏面に印刷していますのでご参考にしてください。

(別紙)

弾道ミサイルが落下する可能性がある場合にとるべき行動例について

(平成29年4月21日付け消防国第38号、消防運第24号「弾道ミサイル落下時の行動等について」を参考に作成)

## 1. Jアラートを活用した緊急情報が発信された場合の行動例

○ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、Jアラートを通じて、防災行政無線等で特別なサイレン音とともにメッセージが流れるほか、緊急速報メール等によって緊急情報が発信されるので、メッセージが流れたら、落ち着いて直ちに次の行動をとることが求められる。

【屋外にいる場合の行動例】

- ・近くのできるだけ頑丈な建物や地下などに避難する。
- ・近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部を守る。

【屋内にいる場合の行動例】

- ・できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

【自動車の車内にいる場合の行動例】

- ・車は燃料のガソリンなどに引火する恐れがあるため、車を止めて頑丈な建物や地下街などに避難する。周囲に避難できる頑丈な建物や地下街などがない場合、車から離れて地面に伏せ、頭部を守る。

## 2. ミサイルが着弾した場合の行動例

○ミサイルが着弾した場合に取るべき行動の例は以下の通り。

- ・近くにミサイルが着弾した場合は、屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。  
屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。
- ・弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため、テレビ・ラジオ・インターネット等を通して、情報収集に努めるとともに、行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動する。